

指定管理者	公益財団法人多治見市文化振興事業団
	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
	(1)維持管理に関すること。 (2)運営業務に関すること。

4. 採点表								
評価項目	細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(74%)=利用率(19.0%)÷25.7%(上記①適用)	85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 視聴覚室:74.7%(平均値比74.7%=18.6%÷24.9%) 会議室1:97.4%(平均値比97.4%=37.3%÷38.3%) 会議室2:71.7%(平均値比71.7%=17.2%÷24.0%) 会議室3:76.2%(平均値比76.2%=22.1%÷29.0%) 料理教室:65.1%(平均値比65.1%=7.1%÷10.9%) 和室1:52.6%(平均値比52.6%=27.9%÷53.0%) 和室2:37.1%(平均値比37.1%=17.2%÷46.3%) 茶室1:55.4%(平均値比55.4%=3.6%÷6.5%) 茶室2:47.9%(平均値比47.9%=2.3%÷4.8%) ホール:68.4%(平均値比68.4%=21.0%÷30.7%)	4点
		②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(57%)=利用人数(延べ 29,490人)÷ 51,489人(上記①適用)	85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 視聴覚室:40.8%(平均値比40.8%=2,166人÷5,312人) 会議室1:68.6%(平均値比68.6%=9,938人÷14,478人) 会議室2:46.4%(平均値比46.4%=1,483人÷3,194人) 会議室3:70.4%(平均値比70.4%=1,949人÷2,768人) 料理教室:45.3%(平均値比45.3%=592人÷1,307人) 和室1:85.9%(平均値比85.9%=3,531人÷4,109人) 和室2:66.4%(平均値比66.4%=2,345人÷3,529人) 茶室1:44.2%(平均値比44.2%=157人÷355人) 茶室2:27.4%(平均値比27.4%=63人÷230人) ホール:50.2%(平均値比50.2%=6,742人÷13,427人)	4点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P321～327 ①高齢者講座／ことぶき学級 歌のひろばたのしく歌おう(15回120人) ②生涯学習講座 (1)かさはらHappyスクール／スッキリ疲れがとれるヨガ 他(39回556人) (2)声を出すって!?講座、シニアのイスヨガ他(43回503人) ③アザレア文化祭 (1)ステージ(200人)、(2)展示(利用団体、講座受講生、笠原幼保小中) ④子ども和太鼓事業／かさはら和太鼓クラブISAMI(29回324人) ⑤かさはら探検隊事業／廃材で自由に作ろう!、ヒミツの王国づくり他(7回160人) ⑥地域交流事業／異世代交流七夕会、工作の日(35人)、スポレク(100人)、いこまい祭中学生祭りプロデューサー(15回125人)、(5)いこまい祭／いこまちゃんをさがせ(75人)、きもだめし(64人)、ドローンパーク(10人)、マンガ・アニメクイズ(29人) ⑦ホール事業 (1)ふたりの世界2(115人)、(2)市原実小代ピアノコンサート(192人) ⑧地域支援 (1)シトラスリボンプロジェクト支援、(2)笠原カレンダー制作協力、(3)NPOまいて支援 他	仕様書以上 13点	①コロナ禍でも”できること”を積極的に模索して、様々な事業に取り組んでいる。 ②特に若い世代の関わりを大切に、いこまい祭でのボランティア中学生、かさはら探検隊での運営スタッフボランティアなど公民館運営に関われるよう取り組まれている。 ③地域に根付いている「スポレクかさはら」「アザレア文化祭」などは、公民館と地域の連携がの強さがうかがえる事業。コロナ禍での開催にあたって様々な協力が必要であり、日ごろの活発なコミュニケーションが結果につながっている。	13点	
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P.328～339 ①舞台芸術鑑賞・施設活性化／KASAHARA STAGE SQUARE(2回50人) ②舞台芸術鑑賞／(1)100人のプレミアムなセカイ(2回207人)、(2)カジーコンサート(100人)、(3)落語の世界(210人)、(4)BUZZ FIVEコンサート(157人) ③施設活性化事業／(1)あそびパーク(9回113人)、(2)マードーミステリー(2回38人)、(3)ボードゲームフェスタ(2回53人) ④施設活用事業／うながっぱグッズ、やくならマグカップもグッズ販売 ⑤次世代育成事業／(1)kasamate事業と展示、(2)ババと過ごす休日講座(10人)、(3)手芸教室(3回27人) ⑥笠原小学校町探検支援(2回60人) ⑦地域活性化事業 (1)いこまい祭／ペット写真展、盆踊り動画及びエンディング動画の作成と配信 ⑧生涯学習講座(26回208人)、親子・子ども対象講座(13回135人)、かさはらカレッジ悠遊塾(17回289人)、VIVAマナビバ講座(19回141人)	期待以上 13点	①モザイクタイルミュージアムとの連携、公民館の改修を視野に入れた屋外コンサートを実施。 ②コロナ禍で失われた子どもたちの体験機会を、多様な親子・子ども講座や中学生の活躍の場という形で積極的に提供。子どもたちの公民館の利用の促進に努めた。 ③舞台芸術鑑賞事業には、保育園児や障がい者施設、悠遊塾の高齢者など多様な立場の方々を招き、音楽を通じた交流に取り組まれた。 ④ボードゲーム、マードーミステリーといった新しい文化の振興を通じて、若い世代の公民館の利用につなげて公民館運営に取り込んだ。 ⑤悠遊塾事業では、地域主体のサロン事業を支援し、高齢者向けの講座や健康づくりなどが参加者の心の拠り所となっている。	13点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P340 ①日常の清掃業務のほか事業計画にある各種業務を遅滞なく実施。 ②公民館前の広場の高圧洗浄を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検			年次報告書P341 ①笠原体育館を含めて多岐にわたる保守点検項目を適正に実施。 ②非常時に備え、消防関係の修繕などを優先的に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
③保安・警備		年次報告書P342 ①巡回警備、機械警備を適正に実施。 ②職員と警備員のより多くの目で施設を確認し、異常の早期発見に努めた。			適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
④小規模修繕		年次報告書P342～343 有償修理 21件 総額1,922,567円(図書館笠原分館含む)			適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		年次報告書P343 ①普段との違いなどの感覚も活かして日常的に施設点検を実施。 ②来館者との日ごろの会話から施設の異常、危険箇所の把握に努めている。 ③危険箇所を想定した予防修繕。荒天時は特に注意を払い異常の発見に努めた。			適正(普通) 2点	適正に実施されている。		

施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P344 ①市のファイリングシステムに準じて、適切な保管・廃棄・整理を実施。 ②個人情報収集は必要最低限の内容に留めるよう留意。	期待以上 3点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			年次報告書P344 ①身近な廃材などの資源を活かした工作を事業に取り入れた。 ②地域のNPOや福祉施設の資源回収に協力。資源の有効活用を図っている。 ③月1回、商工会やモザイクタイルミュージアムと施設周辺の清掃活動を実施。 ④ミスプリント紙などを個人情報にも注意しながら裏紙、メモ用紙などに活用。 ⑤雨水利用の取組み。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			年次報告書P344 ①足の不自由な方やペースメーカーを入れた方でも参加できるシニアのイスヨガ講座を開催。健康講座の間口を拓ける活動に取り組んだ。 ②BUZZ FIVEコンサートは、障がいのある方の参加も呼びかけ、舞台芸術鑑賞の機会を提供した。 ③車いすの方が届かない高さの窓の開閉、視覚障がいの方への寄添い、点字ブロック上の動線の点検、障がい者用駐車場の優先除雪など、高い意識でのサポート、施設づくりに努めている。 ④飲料の自販機を車いす利用者が使用しやすいものへ交換。 ⑤足の不自由な方にはホールに近い専用駐車スペースを設けた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			年次報告書P344 ①日常的な点検から安全を確保するよう確認。故障に対しては長く使用できるようこまめな修理に心がけている。 ②備品の利用に関して、利用者には操作方法を丁寧なレクチャーを施しサポート。ひいては備品の長持ちにもつなげている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			年次報告書P344 ①コロナ関連で収集した個人情報は一定期間保管ののち、適切に廃棄。 ②講座の受付などは一覧表ではなく、個票を使うことで他人の目には触れさせないよう努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P337 ①車で駐車場のフェンスを破損する事故あり。運転手を含め人的被害はなし。フェンス修理までの安全対策や注意喚起など適切に対応。各署への通報・連絡など迅速かつ適切な対応。	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に実施されている。	0点	
当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点 ※100%未満がコロナの影響によると認められる場合は一律4点とする。	収入118,872,986円÷支出122,391,863円＝97%(図書館笠原分館、笠原体育館含む)	100%未満 3点	新型コロナウイルスの影響を考慮し、4点とする。 【参考】 ①指定管理料 53,629千円 ②施設独自の収支(人件費、本部経費等を除く) (1)収入／利用料金収入2,099千円、文化事業収入2,807千円、雑収入1,383千円 (2)支出／管理運営費33,931千円、文化振興事業費3,723千円 ※多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として、別途530,059円を交付。	4点	
より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	P343、P346～P347 ①フォトスポットでもあるモザイクタイルミュージアムを撮影するための三脚を貸出。 ②高齢者団体のために机を配置、畳利用者のためのカーベットの巻き上げなどニーズを察した取組み。 ③会議会場の案内掲示など円滑に利用していただけるよう努めている。 ④危険箇所を想定して修繕を実施。危険の回避につなげる。(ホール絨毯、防滑塗装、保存樹選定など) ⑤公民館以外の問い合わせ(モザイクタイルミュージアム、地区事務所、タイル購入等)にも丁寧に案内。 ⑥地域の観光情報や施設案内の情報を収集しロビーに設置。	期待以上 9点	①モザイクタイルミュージアム前で自撮りをするための三脚の貸出や、そこから市内観光を始める方への案内など、公民館を目的としない多様なニーズにも快く対応している。ひいては笠原地域の顔として良い印象を与えているともいえよう。 ②利用者が気持ちよく使っていただけるよう、利用目的に必要な備品の準備などに気を配り、特に高齢者の気持ちに寄り添った配慮がなされている。 ③大規模な施設であり、特に安全面で利用者から指摘を受ける前に対処しようとする心がけで業務を行っている。	9点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点	
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	①地域有志によるシトラスリボンプロジェクト活動(製作場所、配布場所)を支援。 ②コロナ禍の時間を活かし、公民館前広場のタイルを洗浄。 ③避難所開設の実施検証の経験から、実際の避難所開設をスムーズに実施。 ④中止となった盆踊りをレクチャー動画でホームページに公開。地域の伝統を残す活動に取り組んだ。 ⑤利用者に検温器や座席カバーなどを貸出。子ども用の検温器を設置し、抱っこでの検温の負担解消に努めるなど、安心して事業に参加しやすい環境づくり。 ⑥「やくならマグカップも」のポスターに放送日時の明記、関連グッズの販売など。 ⑦ロビーに地域の情報や公民館講座情報を集約し、来館者に手に取りやすい環境づくり。図書館前スペースで団体の成果発表の実施など、生涯学習の活動の普及、団体支援への取組み。	期待以上 14点	①地域の防災拠点としての自覚を持ち、非常時に避難者の受け入れ体制を整えた。 ②モザイクタイルミュージアムやタイルを求めて市外からの訪問客も少なくない。市のPRや来訪者へのニーズに応える取り組みや環境整備が積極的になされている。 ③公民館前広場のタイルの洗浄やロビーでのチラシ等情報媒体の配架なども、公民館利用者だけでなく様々な訪問客のための環境整備として取り組まれている。 ④盆踊りの動画製作など地域の方々から自らの地域の魅力を再認識できるような取組みがうかがえる。 ⑤令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	14点	
その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ①笠原中央公民館は他の地域以上に地域の思いが強く寄せられる施設であり、この思いに誠実に応えている姿勢がうかがえる。 ②地域の未来を担う若者へ様々な事業でアプローチを工夫している。 ③市内外から多くの人が訪れる場所になっていることを認識し、幅の広いサービスの提供に努めている。	合計86点	極めて良好